

MS・キャラクター・ヒスト

— 全ガンダムシリーズの完全記録

THE OFFICIAL

週刊 ガンダム パーフェクト・ファイル

# GUNDAM

定価 590 円  
(税別)

2013/11/26

112

## MECHANIC FILE

ガルバルディβ /  
サイコ・ガンダムMk-II /  
ヘビー・フォーク / ビッグ・トレー /  
デビルガンダム (アルティメットガンダム) /  
アドヴァンスドジノクス

## PERSONAL PROFILE

ライラ・ミラ・ライラ /  
ジャミトフ・ハイマン /  
ミケーレ・コレマッタ /  
ウルベ・イシカワ /  
ロベール・スベイスシーと友人たち

## WORLD GUIDE

北米遭遇戦 /  
オペレーション・スピットブレイク

## U.C. TIMELINE

アポロ作戦

## GLOSSARY

『機動新世紀ガンダムX』用語集

今週のMS①  
RMS-117 GALBARDYβ



ライラ・ミラ・ライラ



オペレーション・スピットブレイク



DeAGOSTINI

deagostini.jp

# THE OFFICIAL GUNDAM PERFECT FILE



## CONTENTS

第112号 目次



### MECHANIC FILE

### メカニックファイル

ガルバリディ	FILE: 01 / SHEET: 25A	112-1
サイコ・ガンダム Mk-II	FILE: 01 / SHEET: 15B	112-5
ヘビィ・フォーク/ビッグ・トロー	FILE: 01 / SHEET: 05A	112-7
デビルガンダム (アルティメットガンダム)	FILE: 01 / SHEET: 15A	112-9
アドヴァンスドジクス	FILE: 01 / SHEET: 23BA	112-11

### PERSONAL PROFILE

### パーソナルプロフィール

ライラ・ミラ・ライラ	FILE: 02 / SHEET: 38A	112-13
ジャミツフ・ハイマン	FILE: 02 / SHEET: 35A	112-16
ミケーレ・コレマツタ	FILE: 02 / SHEET: 04A	112-17
ウルベ・イシカワ	FILE: 02 / SHEET: 04A	112-19
ロベール・スペイシーと友人たち	FILE: 02 / SHEET: 30A	112-21

### WORLD GUIDE

### ワールドガイド

北米派遣戦	FILE: 03 / SHEET: 02A	112-23
オペレーション・スピットブレイク	FILE: 03 / SHEET: 29A	112-25

### U.C. TIMELINE

### 宇宙世紀年表

アポロ作戦	FILE: 04 / SHEET: 14	112-29
-------	----------------------	--------

### GLOSSARY

### ガンダム用語集

『機動新世紀ガンダムX』用語集	FILE: 05 / SHEET: 10	112-31
-----------------	----------------------	--------

## 週刊「ガンダム パーフェクト・ファイル」

### 特設バンダイ好評発売中

週刊「ガンダム パーフェクト・ファイル」は、特設バンダイを通じてオンライン上でいつでもご覧いただけます。この特設バンダイでは、全国の書店で販売しております。2014年10月25日(金)より、ぜひお楽しみください。  
※このガンダム パーフェクト・ファイルは、特設バンダイ専用です。  
※特設バンダイのバンダイ・チャンネル、スマートフォンアプリでもご覧いただけます。  
※1冊のバンダイ・チャンネル、スマートフォンアプリでもご覧いただけます。

【発行日】2013年11月26日

【発行】株式会社デアゴスティーニ・ジャパン

〒104-0025 東京都中央区銀座1-8-12 12F ショウキョウビル

【発行人】小川善和

【編集人】タカシ山本

【アートディレクター】中村浩司

【ID 番号】太田印刷製本株式会社

©2013 K.K. Deagostini All rights reserved

本誌の記事・写真・イラスト等は無断で複製(コピー)・転載することを禁じます。

週刊「ガンダム パーフェクト・ファイル」は、2004年に弊社が刊行した週刊「ガンダム パーフェクト・ファイル」の一部を流用しております。最新のシリーズ作品やガンダム関連情報、新登場機やガンダムなどを多く盛り込み制作したニューマガジンです。

【編集協力】MEGALOMANIA(黒田英樹 渡邊三三 高村裕隆 本宮あきら 鈴木孝一 公谷貴樹 森本貴博)

【執筆】坂口悠二 杉山和宏 宮澤光一(スタジオハルビート) スザキケン ケルター・ナインワークス(中村裕子 藤口孝子)

【イラスト】出崎 祐 生野 幸次郎 岡田 啓生 / 及川 洋介

【イラスト】鈴木 聡太

【監修】株式会社サンライズ

①新選・サンライズ

②新選・サンライズ

③新選・サンライズ

●お客様サポートセンター

(本誌関連の一切のご質問を承ります)

TEL: 0570-008-109 (月~土 10:00~18:00 土日祝も可)

### 定期購読のご案内

週刊「ガンダム パーフェクト・ファイル」は毎週水曜日発売のマガジンです。より一冊毎に送料(送料は100円を予定しています。送料は全号が送料にお支払いいただくように、送料を定額にさせていただきます。最新のシリーズ作品やガンダム関連情報、新登場機やガンダムなどを多く盛り込み制作したニューマガジンです。

1. お客様サポートセンターへ電話またはファクスで  
TEL: 0120-300-801 (フリーダイヤル 9:00~21:00 年中無休) FAX: 0120-834-353 (フリーファクス 24時間受付)

2. インターネット  
http://deagostini.jp/gpf/ (24時間受付)

※お支払い方法はクレジットカードのみです。

3. 定期購読申し込み用紙を郵送で

「定期購読のお知らせ」でお支払いの場合はお支払いまでご連絡ください。

### バックナンバー/バンダイ注文のご案内

本誌のバックナンバー/バンダイは最新の価格でご案内いたします。なお、バンダイの在庫状況は変動いたしますので、お支払いできない場合があります。ご注文の際は、お支払いの状況をご確認ください。上記の価格を参考にしてください。

112-1	ガルバリディ	112-13	ライラ・ミラ・ライラ
112-5	サイコ・ガンダム Mk-II	112-16	ジャミツフ・ハイマン
112-7	ヘビィ・フォーク/ビッグ・トロー	112-17	ミケーレ・コレマツタ
112-9	デビルガンダム (アルティメットガンダム)	112-19	ウルベ・イシカワ
112-11	アドヴァンスドジクス	112-21	ロベール・スペイシーと友人たち
112-23	北米派遣戦	112-25	オペレーション・スピットブレイク
112-29	アポロ作戦		

### 本誌の最新情報をCheck!

http://deagostini.jp/gpf/



### このパーフェクト・ファイルで扱うガンダムシリーズ

本誌では、映像化された28作品のガンダム シリーズを中心に取り扱います。OVAや映画など、異なる形態でリリースされた作品も各シリーズにまとめ、ひとつのシリーズとしてアイコン化しています。また、書籍やゲーム、プラモデルなど、映像化されなかった作品を「AGS」としてまとめ取り扱います。

#### ■宇宙世紀を舞台にしたシリーズ

1	機動戦士ガンダム	15	機動戦士ガンダム0083 スターダストメモリー
2	機動戦士ガンダム	16	機動戦士ガンダム
3	機動戦士ガンダム MS IGLOO 1 年戦争秘録	17	機動戦士ガンダム 0087 - GREEN DIVERS
4	機動戦士ガンダム MS IGLOO 2 重力戦線	18	機動戦士ガンダムZ
5	GUNDAM ORIGIN	19	機動戦士ガンダムUC
6	GUNDAM THE RIDE	20	機動戦士ガンダムF91
7	機動戦士ガンダム0080 ポケットの中の戦争	21	機動戦士ガンダム

#### ■宇宙世紀とは別の世界を舞台にしたシリーズ

22	機動戦士ガンダム
23	機動戦士ガンダムW
24	機動戦士ガンダムW Endless Waltz
25	機動戦士ガンダムX
26	機動戦士ガンダムSEED
27	機動戦士ガンダムSEED DESTINY
28	機動戦士ガンダムSEED C.E.73 STARGAZER
29	機動戦士ガンダムAGE

#### ■その他の作品

30	機動戦士ガンダム	31	機動戦士ガンダム
----	----------	----	----------

# RMS-117

ガルバルディβ

GALBALDYβ



## 頭部

MS-14Aのフォルムを受け継いだ形状の頭部。メインカメラにモニアを採用している点からも、旧公国軍MSの流れを汲む機体であることがわかる。

## 胴部

風筒式のビーム・サーベルラックを備える胴部。両肩に1本ずつビーム・サーベルを装備する。肩胛から上腕部に連結されている2本のシフトが印象的だ。

## 脚部

曲線で構成され、膝下から足首にかけて広がるような重厚な脚部は旧公国軍MSと風格の構造と言える。また、MS-14AやMS-15と比べてシフトアップされた形状となった。

## ■ SPEC

全高	19.0m
重量	36.3t(全備重量 56.9t)
出力	1,507kW
スラスター出力	63,200kg
装甲材質	チタン合金
武装	ビーム・サーベル×2、ビーム・ライフル、盾用シールド(ミサイル×2内蔵)、バズーカ
機体	タイプンズ 地球連邦軍
搭乗者	ライラ・ミラ・ライラ ノエルド・メサ・ヒ

## ■ COMPARISON CHART



## ■ COLOR



## 背部

当時のOMSとしては小型のバックパックを装備。リア・スカート部にもスラスターを装備しており、その推力と軽量化された装甲によって高い機動性を誇る。

## 旧公国軍MSを改修した地球連邦軍のエースパイロット機

RMS-117 ガルバルディβは、一年戦争末期に旧ジオン公国軍が開発していたMS-17 ガルバルディを模倣し、近代化改修を施した量産型MSである。一年戦争終結後、地球連邦軍は新型MSの必要性を感じつつも、財政難から開発への着手に難航していた。そのような状況の中、連邦軍はMS-17の優秀な性能に目を付け、この機体を改修して制式採用する案を実行に移した。

MS-17は大戦末期に活躍したMS-14A ゲルググにMS-15 ギャンの格闘性能をプラスして開発された

機体で、第一世代MSとはいえずその性能は新入り紙付きだった。そのため、RMS-117に追加された改修は主に機体の軽量化による機動性の向上のみであり、基本設計は、ほぼMS-17同様であった。このような開発経緯のためRMS-117も第一世代MSに分類されるが、一年戦争の7年後に勃発したグリプス戦役中〜末期においても実戦に投入され活躍したことから、極めて優秀な性能を持つMSだったと言えるだろう。だが、高い機動性を特長とする一方で操縦が難しく、グリプス戦役当初はエースパイロットにのみ与えられた。

## 関連ファイル

MS-14A ゲルググ	PG-01-18a
PG-01-25	PG-01-25
PG-01-25	PG-01-25
PG-01-25	PG-01-25

## FILE PREVIEW

2.02.22 シン・マサ



タイプンズに所属するSMSパイロット、ガルバルディβをはじめ、複数の機体を乗り換えるがグリプス戦役の最前線に参戦した。

RMS-117

GALBALDYβ

ガルバルディβ





THE OFFICIAL

週刊 ガンダム パーフェクト・ファイル

GUNDAM  
FILE

112

MECHANIC FILE

ガルバルディア  
サイコ・ガンダムMk-II  
ヘビィ・フォーク/ビッグ・トレー  
デビルガンダム(アルティメットガンダム)  
アドヴァンスドジックス

PERSONAL PROFILE

ライラ・ミラ・ライラ  
ジャミトフ・ハイマン  
ミケーレ・コレマッタ  
ウルベ・イシカワ  
ロベール・スベイスシーと友人たち

WORLD GUIDE

北米通戦戦  
オペレーション・スピットブレイク

U.C. TIMELINE

アポロ作戦

GLOSSARY

『機動新世紀ガンダムX』用語集

今週のMS①  
RMS-117 GALBALDYA



ライラ・ミラ・ライラ



オペレーション・スピットブレイク

©新編・サンライズ  
©新編・サンライズ・MBS



4910205241138  
00562

雑誌 20524-11/26 通巻 112号  
①-2017/3/1 2013年11月26日発行

発行所 デアゴスティーニ 定価 590円  
本体 562円



Color by SUZUKI / Color by AKEMI NAGAO (Wash) / Special Effects by AIKO YAMAKAWA (ASAHI PRODUCTION) / Background by TUI WAKAMATSU (KUSANABE)

7 GALBALDY 6

MS・キャラクター・ヒストリー——全ガンダムシリーズの完全図鑑

THE OFFICIAL 週刊ガンダム パーフェクト・ファイル

# GUNDAM

## PERFECT FILE

113

11月19日(火)発売

590円(税込)

DEAGOSTINI

キングスレーの谷 / モビルスーツ / アメリカ・コロニー

フォートセバーンでの戦い

機動新世紀ガンダムX 南総篇

ジオニック・ユタ シェア専用オリス

プレア・レヴェリー

ジム・キャンノ

お買い忘れなく安心! 発売日をメールでお知らせします!

発売日お知らせメール

PC用 <http://deagostini.jp/oshirase/gpl/>

携帯用 <http://deagostini.jp/gpl/> 携帯用QRコード

お買い忘れなく安心! 発売日をメールでお知らせします!

COMING NEXT ISSUE..

# 《次号予告》

LINE UP

第113号 ラインナップ

MECHANIC FILE	メカニックファイル
アツサム	
陸戦型ガンダム	
ジオン公団軍の航空機	
フトレマイオス2	
ジム・キャンノ	
PERSONAL PROFILE	パーソナルプロフィール
ホソイトヘーメスの乗員	
シロー・アマダ	
イアン・ヴァスティ / リンダ・ヴァスティ	
プレア・レヴェリー	
WORLDLY SCENE	ワールドガイド
キングスレーの谷	
モビルスーツ	
アメリカ・コロニー	
ACTION HISTORY	アフター・ウォー年表
フォートセバーンでの戦い	
GLOSSARY	ガンダム用語辞典
《機動新世紀ガンダムX》用語集	
GUNDAM TRIVIA	ガンダムトビックス
ジオニック・ユタ シェア専用オリス	

## 週刊『ガンダム パーフェクト・ファイル』特製リングバインダーの利用方法

- 1 週刊『ガンダム パーフェクト・ファイル』を各ページごとに、ていねいに切り取ります。
- 2 ラインナップを使って3つの冊子に分類し、各ページをファイルナンバーに貼ってファイリングします。
- 3 集めたいようにして、全ての冊子をファイリングしていきます。
- 4 全巻揃ったとき、ガンダムのことがすべてわかる、ビジュアル大百科になります。

切り取った集めを大切に保管できる、新感覚ポケットファイル発売中!

価格も非常に安い!

デザインは3種類。詳しくは、デアゴスティーニセレクト通販サイトをご覧ください。

<http://deagostini.jp/select/>

週刊『ガンダム パーフェクト・ファイル』全巻アクリルホルダー版も発売中。お取り寄せで送料込みでお届けいたします。詳しくは弊社最新カタログをお知らせ欄をご覧ください。

## MRX-010

サイコ・ガンダムMk-II  
PSYCHO GUNDAM Mk-II

## 大型機動兵器の新たな運用法を追求した機体とその能力

一年戦争後に本格化した地球連邦軍のニュータイプ研究はサイコ・ガンダムの完成で実を結んだ。無論、その研究が強化人間という犠牲の上に成り立っていることは否めない。注目すべき技術的進歩は連邦軍の機体制御であった。従来のサイコミュ・システムはニュータイプ脳波を伝達してビートやファンネルという遠隔制御ビーム兵器を操作するようになっていた。だがサイコ・ガンダムはそれだけに留まらず、パイロットの思念

を機体に反映し、機体自体の遠隔操作を可能にしたのだ(その反面、機体の影響を逆フィードバックされたパイロットが精神に変調を来すという事故も発生したのだが……)。サイコ・ガンダムの後継機として建造されたサイコ・ガンダムMk-IIもこの特性を継承している。MS形態で40m以上、MA形態に変形しても30mを超える巨体をスムーズに精進させるには、サイコミュ・システムの介入が必要だったのである。さらに本機に搭載されたサイコミュ・システムは安定度が向上し、運用時における事故が発生する危険性もかなり抑えられたと考えられる。

## 関連ファイル

MRX-009 サイコ・ガンダム	Z-01.14
プロトタイプ・サイコ・ガンダム 機	AGS-01.47
ロザミア・バダム	Z-02.30
ファンネル	Z-03.01
可変MA	Z-03.17
ディターンズ・オブMS開発	Z-03.20
サイコム・制御システム開発	Z-03.25

## E11 PREVIEW

Z-02.01 フォーター



クレール・トラウダの強化人間、ニルビ・ブルのクローン化されているが、事柄には異なる機体のニュータイプ能力を有している。その反面、精神的に不安定な面を有する。

## MA形態

## 移動要塞としてのメリットを追求した機体の構造と特徴

サイコ・ガンダムから大幅な機体強化が図られた本機だが、基本的な機体構造は大きな変化は認められない。特に「モビル・フォーレス防御」と呼ばれるMA形態はほとんど変わるところがない。この形態は移動要塞としての運用を前提としたもので、機動性の向上よりも攻撃力・防御力の強化を旨とした形態とも言われる。戦場を移動しながら大火力で機体を制圧する移動要塞には巨体が不可欠であり、サイコ・ガンダムを上回る巨体を誇る本機は、圧倒

的な火力を駆逐するための臨には最適だった。しかも運用は強化人間ひとりでも足り、比較的扱いやすい兵器でもあったのである。惜しむらくはグリプス戦役で中破した本機がアクシズ(のちのネオ・ジオン)に回収され、修復後に連邦軍に牙を利いたことだろう。さらに本機の運用データはドーベン・ウルフの開発に転用されるなど、ネオ・ジオンのMS開発にも供与されている。連邦軍重宝でありながら、本機の運命は予想外のところで花開いたのである。

## コクピット

コクピットを内蔵した機体は、MA形態ではヘッドカバーに覆われており、耐弾性が大幅に向上している。ただしこの状態で機体は操縦を分離できない。

## 武装

装甲によって一貫の兵器が使用不能になるが、大半は閉鎖なく使用可能。砲口は機体背面に位置しているため、死角なく前方攻撃を行うことができる。



巨体に似合わない機動性能は高く、サイコ・ガンダムの能力を上回るほどであった。戦場の状況から機体へ伝達している。



サイコム兵器の一つである「ファンネル」・ビートを搭載。この兵器は機体に攻撃力はないが「フィールド」を展開して敵のビームを反射することができる。



さらに搭載された、ヒーム砲の正統的な使い方に加え、機体の攻撃を反撃に利用するなど、移動要塞の面にも幅広い攻撃力を発揮した。

## 脚部

脚部ユニットは機体前方に移動するが、関節分には位置するメガ・ビーム砲はそのまま使用可能。さらに関節内にはMA形態でのみ使用するスラスターを有している。

## SPEC

全高	33.53m
重量	187.8t
エンジン出力	19.760kW
スラスター出力	244.240kg
装甲材質	ガンダウム合金
武装	メガ・ビーム砲×20 砲座40発 千両×3 サイコム式ビーム・ソード×2 砲座4 メガ・ビーム砲×2 レフレクター・ビーム
所属	ディターンズ・オブアクシズ
開発者	ロザミア・バダム プルムラー

## COMPARISON CHART

## COLOR

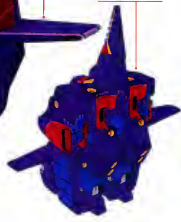


## 安定鋼とシールド

サイコ・ガンダムと同じく安定鋼を内蔵したシールドを機体両側に設置することで、空での安定性を向上させている。ただしMA形態ではシールドの設置位置が異なる。

## バックパック

背面に設置された必要のバックパック・ユニットは、MA形態では下方にスライドする。その下に見える開口部は、レフレクター・ビームの射出口だ。



## 変形 サイコ・ガンダムから引き継いだ変形システムの欠点と改善方法

サイコ・ガンダムのコンセプトを忠実に受け継いだ本機は、ほぼ同じ変形機構を採用していた。ただしそれは、サイコ・ガンダムの変形システムが内蔵する未成熟な同時に受け継いだことを意味する。MA形態でのサイコ・ガンダムは上半身と下半身に2分割することで内部ベースを稼働するため、一部にフレーム構造や内部機構が露出してしまうのだ。シールドや関節ユニットで隙間を保護したとはいえ、それでも兵器としての有用性の前に問題点は見過ごされたのだ。ただし本機においては、この問題は改善された。防衛兵装にフィールド・システムを搭載したことで、ベース系兵器に対する高度な防御力を獲得したのだ。フィールド・システムの搭載にはある程度の内部ベースとジンネレーター出力が必要だが、通常のMSを上回るサイズを誇る本機には問題なく搭載できたようだ。

## ■ シールドの変形

サイコ・ガンダムは最初からシールドを開で保持したが、それでは敵が射撃されてしまう。そのため本機はシールドは通常時に閉じられ、必要に応じて開いて攻撃に手を添える。広い可動範囲を確保した。



シールドの裏側に安定翼が仕込まれており、MA形態に変形すると露出する。これはサイコ・ガンダムに引き継がれたシールドと関節の仕様である。



関節にスラスタを追加することで、関節の可動性が向上されているが、基幹的な変形システムはサイコ・ガンダムから受け継いでいるため、特徴から推定できる特有の構造もほぼ同じである。

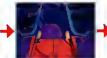
## ■ 変形シークエンス (MA形態→MS形態)



折り畳まれていた、肘が展開して手裏が露出すると同時にバグ・バック・ユニットが上昇する。これはサイコ・ガンダムに引き継がれた、関節の仕様である。



MA形態やMA形態に特有な場合、主幹体前部に押し出されている関節が下方に展開、同時に前後に分断されている上半身と関節が結合される。



MA形態でも関節は露出させられるが、主幹体前部に押し出されている関節が下方に展開、同時に前後に分断されている上半身と関節が結合される。

## コクピット 広範囲の視界を確保するためのモニターを採用

機体の基本構造や変形機構のみならず、本機はコクピットをも制敵系もサイコ・ガンダムを継承しており、サイコミュシステムも導入されている。しかしベース機のように暴走したシステムがパイロットに害を与えたり、戦闘を強要するようなことはなく、それだけ知能が高くなったようだ。しかしパイロットより強力な思念が外部から放射された場合、それを感知したシステムの制御系が暴走したといった事態が発生している。完成度が高すぎたといえ、一歩の不安が拭えないのは問題と云えよう。



シールドの両側にモニターが2基ずつ搭載されている。多数の兵器を同時に扱うための視界確保であるが、少し不安。

## ■ コクピット内部レイアウト

同世代のMSでは一般的な構造である全周視野モニターが採用されており、頭部を一望できる。これに本機は複数のカメラ・センサーを装備しているため、多数の目標を同時に追跡するのに、これは完成度の証である。



サイコミュ・システムは天井に設置してあるらしく、後部のケーブルを介してパイロットの思考を機体に伝達するようになっている。

## 特殊機能 パイロットの安全を考慮した脱出機構を内蔵

コクピットが位置する本機の頭部は機体制御系の中枢であると同時に、パイロットの生存性を高めるための脱出ボートとしての機能を有している。本体の構造が著大で稼働が困難になった場合、パイロットを乗せた頭部が分離、その安全圏を確保して飛行するのである。全周視野モニターが脱出ボートになる機体に比べ、自力脱出が可能な本機のほうがパイロットの生存率向上に有効なのは明らかだろう。



平時状態にあって6秒出動後は閉鎖して自動で起動する。高い信頼性を持つ。ちなみに乗降口の構造の稼働能力は示されていないが不明。

## ■ 頭部側面

メイン・カメラやセンサー、粒子砲が搭載されている。分離後もある程度の戦闘行為は可能と思われる。ZZガンダムから流用する際にも用いられた。



## ■ ノズル (3基)

頭部の後部に位置する3基のノズルが設置されている。この位置では通常の稼働では役に立たないため、脱出時の補助用のものだろう。

## MORE INFO !

## サイコ・ガンダムMk-IIの最期

改修後、グレミー・トドの下に落ちた本機はブルグに奪われ、ダブリンへのコロニー落とし作戦に利用して、アーマー攻撃に投入された。この戦役で本機はエルビールが搭乗するキュベレイ機と衝突。さらにダブリン・アークのZZガンダムを追い詰めている。だが、最後にはブルにリフレクター・ビートの制御系を奪われ、自らのベースを受け中絶してしまっ。



リフレクター・ビートの制御系が奪われた理由は定かではない。ブルが奪ったのは、そのシステムが奪取後の反応を制し、えらめようとする。



機体が大きく失速しながら落ちていく中、戦闘力は喪失しており、ZZガンダムに一刀両断されている。





暴走の結果  
悪魔と化した究極のMF

## JDG-00X

デビルガンダム  
(アルティメットガンダム)  
DEVIL GUNDAM (ULTIMATE GUNDAM)

## 胸部

スラスターノズルと見られる円筒形の突起物を多く備える。上半身と下半身を連結する骨格の部分からはV字形のアンテナが伸びているのもわかる。

## 腰部

大きく盛り上がった上半身プロットの中央部にレイアウトされている。胴体形状は、アルティメットガンダム自体のものとはほぼ同じであった。

## 生体ユニット

デビルガンダムは、人間の生体力を機体のエネルギーに変えていた。悪魔形態にも、レイ・ミカヅが生体ユニットとなった。



最終形態 ▶

## SPEC

全高	23.9m
重量	41.2t
スラスター出力	
スラスター出力	
機体材質	
武装	デビルフィンガー×2 / ビーム・ムサシ
機体	
所属	ネオジャパン
開発者	キャウジ・カッシュ・レイ・ミカヅ

## COMPARISON CHART

	COLOR
30m	RED
20m	RED
10m	RED
5m	RED
0m	RED

## 胸部

スラスター・バーニアを備えた胸部。内蔵にはデビルコアと呼ばれる大型のエネルギーコアが格納されており、使用時にはエネルギーが放出される方式だった。

## 三大理論を有し、第13回ガンダムファイトを混乱に導いた特殊MF

ネオジャパンで活動していた技術者ライヴ・カッシュと、その息子であるキャウジ・カッシュは、ガンダムファイト用のMF(モビルファイター)とは別に、非戦闘用MFの開発に取り組んでいた。このMFを開発する上でのコネクトは、ガンダムファイトによって荒廃した地球を浄化し、かつてのような自然を取り戻すことであった。未来世紀(F.C.)60、様々な技術を開発して完成に至ったのがアルティメットガンダム(デビルガンダム)である。

本機の最大の特徴は、「自己修復」「自己増強」「自己進化」という三大理論を持つことであり、理論上は

半永久的に成長/進化し、運用することが可能なMFであった。機体は地球環境の回復に向けて投入される予定であったが、その力を軍事利用しようとしたネオジャパン軍少佐ウルベ・イシカワが強奪を計画。キャウジは強奪を阻止べく急遽地球へと降下するが、その際の衝撃で機体は暴走してしまう。結果、「デビルガンダム(DG) 銀器」の力であらゆる有機物から無尽蔵にエネルギーを吸収するデビルガンダムへと変貌し、機体の降下直後に開始された第13回ガンダムファイトにも大きな影響を及ぼすこととなった。

## 関連ファイル

GP1300114 連環ガンダム	GG-01-11
デビルガンダム 四天王	GG-01-13
デビルコア	GG-01-15
レイ・ミカヅ	GG-02-02
キャウジ・カッシュ	GG-02-05
マスター・アジア	GG-02-11

## FILE PREVIEW

GG-02-11 第13回ガンダムファイト



ネオジャパン代表のガンダムファイター。地球に降下したデビルガンダムを用いて、人間の存続を争うことになる。

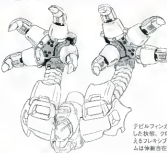
## 構造

## レインを生体ユニットとした最終形態

デビルガンダムに実装してから、機体は三大理屈を固持しており、DG形態を使った増強と進化を繰り返していた。その都度、形や形状は異なっているが、デビルガンダム最終形態と呼ばれるタイプは、生体ユニットにレイン・ミカトを搭せ、ネオジャベロコニーを吸収した機体のコアユニットを指す。胸部にレインを搭載したこの機体は、MS形態とMA形態という2種の基本形態を備え、MA形態では高い飛行能力を持つ。武装には、大型のクローであるデビルフィンガーのほか、機体各部に多数のビーム砲を装備、これにより多彩な攻撃を仕掛けることが可能となっている。

ゴッドガンダムに搭乗したドモン・カッシュがコロニーデビルガンダムの動力炉内に侵入した際、最終形態が動力炉に登場。ドモンと一騎打ちを行った。

## ■ デビルフィンガー



デビルフィンガーは展開した状態、クロー型を突入するフレキシブルなフレームは伸縮自在であり、その攻撃範囲も非常に広く伸びている。



## ● ビーム砲

デビルフィンガーのクロー先端からビームを放つことができた。ほかに、胸部や腕部からビームを放射する機構を有し、敵機の接近を防いだ。

## ● デビルフィンガー展開シーケンス



デビルフィンガーを収納している胸部装甲の展開シーケンス。スラストバーンを基軸に分割され、その内蔵のデビルフィンガーが露れる。

## ■ MA形態



MA形態のイメージ図(無頭と上半身アンテナはオミット)。下半身部分の形状は、ガンダムのフェイスパーツを移植した状態。



DG形態を超える機体だが、空中で急停止できるほどの機体制御能力を持つ。これによりコロニーガンダムにもめまぐるしい機動性を見せつけた。

## ● MS形態→MA形態変換シーケンス



リアスカートを開発後、胸部を開き、その後、大腿部にあるフェイスボードが開き、MA形態への変換は完了する。

## ■ 内部構造



機体の最奥部に設置されたエンジン、DG形態の機体で金属化しており、封鎖できなくなっていた。だが、機体はレインの意志と生命力で動いている。

## MORE INFO!

## ■ アルティメットガンダム

ラブリとジョージが完成させた最後のアルティメットガンダム。機体や上半身は機体のコア、胸部などはレインを搭載したコアユニットとなっている。

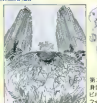


左腕は地球に降下した際に受けた飛行形態。右腕に大型のクローを装備し、ビーム砲を多数搭載している。



## ■ アルティメットガンダム(第二形態)

ネオインペリウムを襲撃する最終形態のガンダム。DG形態によりあらゆるものを吸収して巨大化しているほか、デスアームを全周に装備し、強力な攻撃力を持つ。



第二形態のコアユニット。下半身のガンダムフェイスなど、デビルガンダム最終形態に準拠した構造となっている。

## デビルガンダムの変遷と進化

## ■ コロニーデビルガンダム

最終形態のクローに代わり、レインを生体ユニットとしたことで機体は完全変換された。ネオジャベロコニーを吸収した上、地球も吸収しようとした。



デビルガンダム本体も巨大化し、周囲には巨大な翼状のパーツが展開した。その内部のコアユニットとして最終形態が生み出された。

## ● 内部ユニット



## GNX-604T

アドヴァンスド  
ジックス

unknown

ADVANCED GN-X

## 副機部

原型機であるGNX-603T  
ジックスと外見上の差はない。機頭と胴部には、2対  
ずつ14枚のGN粒子発生  
装置を持ち、アドヴァンスド  
ジックスはその装置などの  
チューニングをパイロットに  
合わせてカスタマイズできる  
仕様であった。

## 胴部

胴部のように胴部も構造に  
大きな変更はないが、大脚  
部に改良が施され、GNウレ  
ニアなどを搭載、運動性も  
大幅向上している。

## 背部

背中には疑似太陽炉が搭載、  
ハンガーで補助的に機体へと  
収納して出撃するほか、機型  
機と同一。一方で、形状の異  
なる部位が肩胛と大股部であ  
ることが見られる。

## ■ SPEC

全高	19.0m
重量	70.4t
燃料効率	—
スラスター推力	—
装甲材質	ミカドール

武装  
アドヴァンスドGNビームライフル/ブ  
ロ-GNラシス / GNビームサーベル  
/ GNバルカンX2 / GNディフェン  
ス / GN-X2 / GNプラズマ

## 所属

地球連邦

開発者 エイム・インダストリアル / デュラ・ガルスナ

## ■ COMPARISON CHART

20m	15m	10m	5m	0m
GNX-603T	GNX-604T	GNX-605T	GNX-606T	GNX-607T

## ■ COLOR

BLACK	WHITE
PURPLE	PINK

## 脚部

脚部は構造に大きな変化はないの  
の、細部が改良されている。本機の脚部は  
装甲ではなくマウンティングとなっており、GN  
メガランチャーなどに換装することが可能。

ベースに与えられた強化型ジックス

## 世界統一に貢献したエースパイロット用のジックス

ソルスタルビーイング (CB) が武力介入に投入した機  
動兵器「ガンダム」は、圧倒的な性能をもって従来のMS  
を脅かすものだった。だが、CBを裏切った国連大  
使アムバードロ・コーナーによって30機の疑似太陽炉搭載  
機——GNX-603T ジックスが三大勢力にもたらされ、  
「ガンダム」と同等のMSが各勢力に配備された。その  
後の戦いの結果CBは壊滅し、新たな時代の幕開けと  
共に、MSもまた太陽炉搭載機への世代交代が行われ  
ていく。世界が統一に向かう中で各国の軍力は弱体化  
されるが、その過程で抵抗する勢力は少なくはなく、主力機

として量産体制に入っていたジックスが投入される。そ  
の際に、実戦を扱う現場の要請に従って開発されたジ  
ックスが、GNX-604T アドヴァンスドジックスである。これは  
後期生産型に改良を施したタイプで、ジックス全体の  
3パーセント未満の生産数しか造られなかったエースパイ  
ロット用のカスタムジックスであった。ジックスを「1」し  
た場合、アドヴァンスドジックスは「1.5」に相当する性能  
を有しており、エースパイロットたちの技量もあって戦場  
では極めて高いミッション達成率を誇った。また、本機の  
データは次期主力機のジックスIIへと活かされている。

## 関連ファイル

GNX-603T ジックス	00-01-26
GNX-604T アドヴァンスド	00-01-27
GNX-605T ジックスII	AGS-01-220
アムバードロ・コーナー	00-02-15
ロベール・スレイヤーと友人たち	AGS-02-30
GNX-607T ジックスIII	00-03-21

## FILE VIEW

00-01-26 GNX-603T ジックス

疑似太陽炉を搭載した国連軍のMS。戦後2307年出  
産のMSと同一の構造を持つ。汎用性を重視した  
機体である。

## 機体構造

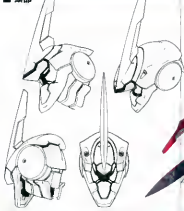
## パイロットの特性に合わせてチューニングできる機体

基本的な構造はジックスとほぼ一緒である。だが、本機が“アドヴァンスド”とされる所以は機体内部のチューニングに依るところが大きい。これによってパイロットの特性に合わせて調整を可能とし、操縦者が能力を発揮しやすい機体となっている。ただし、推力回りが強化されていることからハイパワーな機体となっており、通常のパイロットが乗りこなすことは困難である。特に元ユニオン軍エース・ジンバリスの機体は、バーニア陣のバリエーションもことごとく外してあった。このため暴れ馬のように戦場を飛び跋扈する安定しない機体であったが、軽やかにエイミーが乗りこなしたことから彼に「鋼鉄のカウボーイ」という二つ名が付けられた。



本機のがンシステムは高く、重量232kgの巨体に對するGNシステムは本機で空軍。左側に、肩と腕の部分が、機体の中心部に位置する。右側に、機体の中心部に位置する。

## ■ 頭部



指揮官用の統合アンテナが追加され、空軍・連戦機が強化された。さらに特殊な機能として自律下の機体制御も可能。このシステムのおかげで、本機が従来の機体と異なり、自律の思考能力が強化された。

## ■ デボラ・ガリエナ機

頭部に搭載する統合アンテナ。デボラ・ガリエナ用にチューニングされたシステム。ピンクのパーソナルカラーが特徴である。両翼はスタンダードなGNディフェンソロッドで運用している。



## 武 装

## 新設計の兵装群とオプション換装による汎用性

原型機であるジックスを模範とし、GN粒子を用いた汎用性のある兵装を運用している。ただし機体と異なっており本機専用の装備が新たに考案・採用されているほか、質の高い兵装マウントラッチによって武装の多様性が増し、汎用性はより向上した。また、防衛兵装は原型機から見直され、汎用性が、GNシールド兼ディフェンソロッドを備えた大型のGNディフェンソロッドを採用。三大勢力出身のパイロットが多いため、馴染みのある兵装が選ばれたと考えられる。



本機に搭載されたGNディフェンソロッドは、専用ラッチによって運用が可能で、その中にジックスの専用兵装だけでなく、他機採用されている。

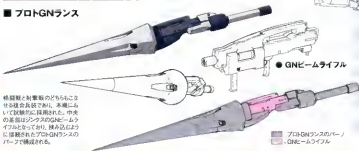
## ■ アドヴァンスドGNビームライフル

ジックス専用機のカリフォルニアシステムと似たもの。基部はジックスと同じだが、命中精度・連射性・攻撃力をどのレベルでもパイロットが調整可能で、調整できる。必要に応じてGNビームライフルを換装。



## ■ フロントGNランス

ジックスのGNビームサーベイルは、本機のマウントに収納されているが、本機はアドヴァンスドGNビームライフルに換装したような形で運用される。



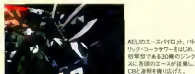
格闘戦と射撃戦のどちらに必要とする場合があり、本機において両方に採用された。中央の基部はジックスのGNビームライフルとなっており、換装品のように搭載されたフロントGNランスのパーツで構成される。

■ フロントGNランスのパーツ  
■ GNビームライフル

## MORE INFO!

アドヴァンスドジックスを  
与えられたエースパイロット

GB登場後、世界統一に向けた動きが活発化し、即座に「世界各国の軍閥」という組織が出現。半年の間に世界のほぼ一掃を遂げた。この組織はアドヴァンスドジックスを駆るエースの活躍を群を抜いていた。特に本機が搭載するMSに高い適性を見せた元ユニオン軍のエース、即座に各国のMSに精通していたデボラ・ガリエナなどが広く知られている。



AGSのエースパイロット、バク・リウ・コウザワは、格闘型である3D機のジックスを、各国のエースが注目し、GBに搭載される。

## デボラ・ガリエナ

国連の軍事要員で、アドヴァンスドジックスは、デボラ・ガリエナが行ったことで、各国のパイロットが機体を使いこなすようになったとされている。



## エイミー・ジンバリス

「世界各国の軍閥」で戦場を回ったことから、敵軍では「統一世界の悪魔」とも呼ばれていた。なお、この名を知っていた「不死身のコウザワ」は、エイミーの機体についている。





# いい男になってくれば もたれかかて酒が飲める。 ……それはいいものさ

グリーン・オアシス軍軍に始まるティターンズとエーゴの武力衝突において、ボスニアはエーゴ造製の兵器を運び、ライラはその先鋒としてアーガマに接触した。だが、応戦した赤いMSの力はライラに「赤い星」を想起させ、警戒心を掻き立てた。結果、アーガマを取り逃したライラはティターンズと歩調を合わせて追撃にあたることとなり、ジェリド・メサと出会う。

当初はジェリドを地球育ちの若造と見て下っていたライラだったが、結果を出せない面振るから教える願うてくる彼の熱意を見込み、自らの経験を活かして、それは、新たな環境に適応するための伝達であり、宇宙で戦う者のあり方だったと教える。ジェリドに可能性を見出したライラは、彼の才能の火花を助けるようにしたのである。アーガマとの戦いで、身をもってそれを示したライラだったが、一方でアーガマに言い知れぬ圧力を感じていたのだ。

その後、ライラはボスニア軍艦での作戦行動を支援し、サイゴ・30バッチでアーガマを捉える。ティターンズの戦艦が作った元のコロニーで、ジェリドが回航するカミーユ・ビタンと対面するライラ。だが、カミーユがニュータイプと確信したライラは、その力に自分が必要だと感じて望上する。その反感こそが自身がオルドタイプであることの証と知ると同時に、ライラはカミーユの攻撃を受けて命を散らせたのである。

## 足跡 ライラにまつわる異説の数々

ライラの出身やグリーン・オアシス軍以前の経歴は明らかになっていないが、ジェリド・メサを「地球人」と呼んだこととあり、宇宙を主戦場としていた過去が窺える。一眼には、一年戦争時から地球連邦軍に在籍していたと推測され、戦後のU.C.0083.03に行われたセプターンのジオン公園軍事研究基地「ヴァーナル」に対する結核作戦に参加したとする説もある。なお、その作戦ではグリーン・ワイアット麾下の艦隊に配属され、ペッカーダーが指揮するMS部隊の一員としてジム・スナイパーに搭乗。シャア・アズナブルが駆るジオング3号機と交戦したとされる（当時のライラの階級は中尉）。

また、別の説はライラの戦死がエーゴのジャブロー強襲作戦においてだったと伝えている。ちなみにその説では、ジェリドを「お勉強だけがよくできるバカな子」と呼んで相手にしなかったと語られている。

## 能力 実戦経験に裏打ちされた高い技量

ライラはグリーン・オアシス軍艦乗組員のパイロットであり、殊に空空間戦術の技量は非常に優れている。戦艦指揮官としても優秀で、彼女が率いたボスニアのMS部隊はクワトロ・バジラー（シャア）にも「変装部隊した部隊」と評された。また、前述した異説の中には、わずかながらもニュータイプの素質があったとするものもあったという。



シャアは13歳の時に、彼女と戦った経験がある。この頃、彼女は10歳で、シャアは13歳で、シャアは彼女を倒した。また、シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。



- 制服の上にコートを着用した姿。制服は一般戦場のためのデザインが多く、格闘には不向きな部分が多い。なお、身長は173cmだ。
- ライラが着用したヘルムスーツはクワトロにグリーン・バーナルのマークが施されたもので、ティターンズと関係のあるものと思われる。
- 軍内の伝説で、ライラはジャブロー（JF）の襲撃を受けた際に、バスを盗み逃げたことがあり、その際に、特に面白い様子もなかった。



ボスニアでアーガマを捜し、最終的に地球に降りた。最終的に地球に降りた。最終的に地球に降りた。最終的に地球に降りた。



ボスニアに到着する時、シャアと面識があり、シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。



30バッチの中で、シャアと面識があり、シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。



カミーユに上りし顔を覗かされて撃退され、ジェリドへの警告の意を察して命を落とす。だが、最終戦では戦ったことにより、カミーユに力を与えた。

## MORE INFO!

ライラが所属したサウス・セクトボスニアは、シャア・アズナブルが率った地球連邦軍正規部隊の艦で、ガンダムAAH-2を擁護してグリーン・オアシスを脱出したアーガマを攻撃した。また、ライラとシャアのくだり（シャア）は、気心の知れた戦友といった関係が窺える。



ボスニアのプリジで会合するシャアとライラ。上と下の関係だが、ふたりの間に友情は存在し、友情を貫き合っている。

## ボスニアと艦長



シャア・アズナブル

ボスニアの艦長を務めた地球連邦軍少佐。約20年前の戦いで、シャアと面識があり、シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。シャアは彼女を倒した。

## ジャミトフ・ハイマン

Jamitov Hymen

## PROFILE

年齢 一  
所属 ティターンズ  
階級 大尉(ティターンズ編隊)  
出身 地球  
経歴 人心掌握、政治工作

地球圏に覇権を唱えようとした  
老獪な軍人の手練手管

17世紀末にイングランドで発生した王位交代劇は、無血をもって為されたことから「名誉革命」と呼ばれる。革命には血が付き物という既成概念を打ち破ったことが命名の由来だろう。確かに社会基盤の変革には大きな犠牲が免れないのが歴史の常だった。だが革命に際して当然のように流血を強いるのは、施政者の驕りや並べ以外の何物でもない。ならば軍事力をもって地球連邦政府の機軸を作り替えようとしたジャミトフ・ハイマンの行為は賞められるものではない。しかし彼が人類を導いて変革を目指したのも、また事実なのだ。一年戦争以後、地球にしがみ付き続けた官僚は、やがて地球そのものを食い尽くす害悪になるであろう——その危機感がジャミトフを突き動かし、革命へと駆り立てたのだ。だが革命が進行するうちに当初の高貴な目的は失われ、演じられた軍人による地球統治へと姿を変えてしまった。そして結局は、地球圏に新たな流血を招くことになったのである。



時勢を的確に読み解いたジャミトフは、反乱軍連合を率いながらティターンズの機軸を変え、次第に地球連邦の体制を崩壊させていくのだ。



## CHARACTER

## その人柄

新しい世界に身を置いていたジャミトフだけに、他人の本質を見抜く眼を磨いていたようだ。刻面したシロップを、部下が一種に優秀な人材と認めたのに対し、ジャミトフだけは「危険かもしれない人」と評したことに、彼の鋭さが垣間見える。



シロップの華やかな容姿には驚いたジャミトフだが、その行動の裏には対立し隠れてきた。そして最終的にこれが彼の命運になっていく。

## RELATIONS



部下



バスク・オム



大尉



バグダス・ジロコ

仲間



ハイマン・カーン

流血の改革を強行した  
ティターンズ総統の思惑

## MAIN MECHANIC



## トコス・キア

ティターンズの機軸と変遷を、当初はバグダス・ジロコに与えられていたものの、その機軸下で運命をたどる。ティターンズの門に侵入して、ジャミトフの機軸で戦っている。

## 関連ファイル

トコス・キア	Z-01-35
ジャミトフ・ハイマン 物	03-02-12
バグダス・ジロコ	Z-02-25
バスク・オム	Z-02-34
バグダス・ジロコ	Z-02-35
ティターンズ	Z-03-34
バグダス編隊	Z-03-42



バグダスの機軸を執る「大義名分」の押し、ジャミトフに危機感を抱かせる機軸が見え、バグダス・ジロコに力を与える。自らに力を与える。

# お守りだよ…… 生き抜くための、な

公国軍政務庁長名目とするエリート部隊「ティターンズ」を組織したジャミトフは、次第に組織を私兵化し、連邦軍と連邦政府の掌裏に乗り出すようになった。ティターンズという暴力団軍を利用してスペースノイドとアースノイドの対立を助長し、支持基盤が弱まった調整機構を打ち倒したのちに、新たな支配体制を確立しようとする。激しい抵抗を収めるエウゴを率制しながら果実に前進を続けたジャミトフは、連邦議会に働き掛けて連邦軍の指揮権をティターンズに委譲させることに成功。変革に向けての準備を整えていった。しかしシヤア・アズナブルのダカール演説によって、地球圏の市民感情が反ティターンズに傾き、さらにアランズの真切川によって事柄は急転。ティターンズは劣勢に立たされてしまう。打開策を求めたジャミトフはシロコやハマーンを利用しようとするが、すでに事態は動かが難しい状態となっていた。ジャミトフの野心は生き延びたいという打ち砕かれ、世界に流血を流した革命は彼自身の命を奪っただけではなく、地球圏にさらなる混乱を招くこととなったのである。

## 足跡 ティターンズ専横のきっかけ

U.C.0083に結成されたティターンズが初めて歴史に名を残したのは、U.C.0084.04.30に起こった労働争闘である。月面都市エアーズでバシカ工業が起きた争闘は、公国軍機務を名乗る一部による人質事件に発展。これに対して軍事警察が出動要請を受けたティターンズはジ・クウェール一隊小隊を投入し、わずか5分で事態を収束したのである。ジャミトフが直接の指揮を執った訳ではないとはい。この事件がティターンズの足場を固める格好の機会となったのは間違いない。

## 能力 交渉の場で見せた老練な実力

優れた作戦立案能力と指揮能力。さらに権謀術数の腕の冴えを見せもジャミトフだけに表戦の場に出ることはほとんどなかった。彼の真価は他勢力との交渉や駆け引きといった分野で最大限に発揮されたのである。



連邦議会に言う必要もなかった。彼の演説はティターンズに有利な結果をもたらす外交的解決を導き出したのは、ひととジャミトフの交渉の腕による。



① 変化に順応し、果てては敵対は許さず、調整機構を打ち倒したジャミトフは、そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。

② 連邦軍の野望を抑え、公国に有利な状況を作る。そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。

③ ハーパーの下にシロコやハマーンをデサインの軍師に雇い入れる。そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。そのための準備として公国軍に乗り出す。



ティターンズという暴力団軍を効果的に組織させるにはエウゴという中立組織は打つ手がない。エウゴの組織化という名目を用いたジャミトフは、そのための準備として公国軍に乗り出す。



連を凌いだジャミトフはシロコ、ハマーンとの会談を支援。公国軍の敵であるエウゴを排除するための方法を模索しようとしたのである。



機務のためには人道的な行動に手を回さなければならない。ジャミトフは公国軍の機務を指揮する。そのための準備として公国軍に乗り出す。



エウゴの乱入によって会談は中断。さらに急ぎの連絡に断れぬシロコによってジャミトフは去る。駆けつけようとしたジャミトフは、そのための準備として公国軍に乗り出す。



しかし大小のアクシデントがジャミトフの計画を狂らし、ついに戦局は正真正正の確率を呈示する。バスターは公国軍の主力を率えており、そのための準備として公国軍に乗り出す。

## MORE INFO!

### ジャミトフの取り巻きたち

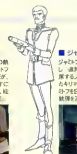
ティターンズ創設時に立ち上げたジャミトフの周囲には多数の文官・武官が控えており、政治と軍事の両面で補佐していた。だが彼ら全員がジャミトフに絶対の忠誠を誓っていたとは考えにくい。知能と駆け引きに優れたジャミトフは安泰とあれば支那軍でも利用する。彼らには内々では敵意を抱いていたかもしれない。



中にはバスター・オムのように対等な立場で構えていたが、彼らの目にはジャミトフが映えていた。彼らは、そのための準備として公国軍に乗り出す。



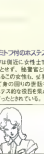
■ ジャミトフの副官  
ジャミトフに付き従い、彼の機務を補佐した人物。ジャミトフに対する忠誠心は本物だが、シロコやハマーンを支援する。そのための準備として公国軍に乗り出す。



■ ジャミトフの武官  
ジャミトフの身邊要護を担う。連邦議会や公国軍に出る。そのための準備として公国軍に乗り出す。



■ ジャミトフのホステス  
ジャミトフは女性に女性士官を頼ること。彼女と、そのための準備として公国軍に乗り出す。



## ミケーレ・コレマッタ

Michele Corematta

## 大隊の指揮を執り

部下を死地に送った地球連邦軍上官

ミケーレ・コレマッタは一年戦争に従軍した地球連邦軍人で、戦争初期から地上戦で指揮を執った人物だった。だが、当時の地球連邦軍は開戦当初の惨敗から形勢を立て直せないままであり、コレマッタが所属した地上軍もU.C.0079.03.01に始まったジオン公国軍の地球降下作戦によって苦戦を強いられていた。その状況の中で、コレマッタは自らに与えられた役目を果たすべく、采配を振るっていたのである。

コレマッタは、U.C.0079.04の時点で地球連邦軍第44機械化遠成連隊に所属し、大隊長のひとりとして部下を率いていた。しかし、その頃の地球連邦地上軍はジオン公国軍の新兵器——MSの猛威に晒され、戦術の維持と戦力の運用に悩まされていた。コレマッタの下にも様々な兵士と兵器が集まり、そして統制していた。コレマッタはその命運を左右する指揮官として、彼らを「死神」の下へ送り出していくのだった。



地球連邦軍の上官として一年戦争初期からの地上戦に参加し、多くの部下を戦場で送り出してきた。だが、その判断は打撃の上に成り立っていた。

## CHARACTER

## その人物

コレマッタは情が薄く冷たい性格の人物で、部下を消耗品のように考えるところがあった。一方で、悪徳のシロコリが上手ではない面もあり、オデッサ戦においては戦場の空気に当てられて興奮する場面も見られた。



オデッサ戦で敵団の攻撃に奮闘し、戦場においては豪胆な見せ方を見せた。部下を見送る。

## RELATIONS



## PROFILE

年齢 30歳  
所属 地球連邦軍 第44機械化遠成連隊  
階級 少佐  
出身 不明  
技能 部隊指揮



一年戦争の地獄に  
生贄を送り込んだ  
冷酷な指揮官



## MAIN MECHANIC

M35344  
ブラッドハウンド

MS軍用特種部隊、オデッサ作戦による不意な攻撃に各機が活躍する。オデッサ戦でコレマッタが指揮官として運用した。

## 関連ファイル

MS35344 ブラッドハウンド 機	IGL2-01-04
第44機械化遠成連隊	IGL2-02-01
バーマン・ヤング 機	IGL2-02-02
アリス・レイズ 機	IGL2-02-03
ジオン公国軍 特殊部隊 一団MS44機を駆る	IGL2-03-01
オデッサ作戦 一団MS44機を駆る部隊	IGL2-03-02

## FILE PREVIEW

IGL2-03-01 第44機械化遠成連隊



対敵戦部隊の主力として、地上に降り降下された。連邦軍のMS部隊、ザクハンターと呼ばれ、分隊5人で対MS戦闘部隊を運用する。

## 戦場に死神は付き物だ それに真の死神は宇宙から やってきたジオンのサクダ

U.C.0079.04下旬、欧州南方戦線に展開する第44機械化混成連隊は、戦線の縮小を企図されていた。しかし、連隊はジオン公國軍のMS小隊に迎撃を要される事態に陥り、コレマツタは部隊に残った唯一の対MS特務兵小隊を後退支援に差し向ける。相打ち戦闘で多くの部下を失った対MS特務兵小隊の指揮官バーバリーへの反論も無視し、彼らを死地に送り出すコレマツタ。その結果、バーバリーらは全滅するが、連隊は後退してマテルダ隊からの情報を受けることに成功する。

だが、以降も地球連邦地上軍の劣勢は変わらず、7月下旬には欧州方面軍は北方戦線に追い詰められる。さらに、戦軍大隊による反撃も阻まれ、第44機械化混成連隊は機甲戦力の半数を失う。コレマツタはその状況を打開すべく、第301戦軍中隊第1小隊長兼ハーマン・ヤンデルの具申を容れ、偽情報で誘引した敵MS部隊を壊滅する作戦を実行した。作戦はヤンデル小隊の壊滅と引き換えに敵エースの撃破という成果を抜き、連邦地上軍は勢いを盛り返していくのだった。

その後、第44機械化混成連隊は独立混成第44旅団へと改編され、11月初めのオデッサの反攻戦に参加する。陸戦強襲型ガンタックを駆るアリス・ネズンら四人部隊の配置を受け、第144高地の攻略に臨んだコレマツタは、アリスの命令無視に憤りながらも、オデッサにおける道標地上軍の勝利に貢献した。

### 足跡 作戦行動に見えるコレマツタの姿勢

コレマツタは軍の方針に基づいて隊の指揮を執り、時には損害を承知で部下を動かした。バーバリーの対MS特務兵小隊に対しては、訓練中の新兵を補充して再編し、ザクII3機を排除するという任務を与えた。対MS特務兵1個小隊で3機のザクを相手にするなど無謀と言うはかなく、機甲戦力の減耗を招いた軍の重荷でバーバリーを壊す駒にしたのである。また、後援で戦うヤンデルを急んだレイノ・スラーの進言を退け、ヤンデルの立案した作戦を通した点には、部下の善行や心機が仇結果を優先する考え方が表れていたと言える。

一方でオデッサ戦においては、アリスたちに無理な命令を与えず、支援戦力として妥当な運用を行わせた。むしろ、二重スパイが潜入したダブデ敵戦艇への攻撃を禁じた司令官命令をアリスに無視され、コレマツタ自身が災難を被ることになったのである。

### 能力 指揮官としての力量と問題点

コレマツタは、冷静な状況判断力と大膽な戦術眼は備えていたが、前述のように目に見える戦果を挙げために犠牲を払わなかった点を鑑みるに、その力量には疑問符が生じる。オデッサ戦では旅団の陣地指揮も執ったが、他部隊への対抗意識を強硬に表に出さず、戦線指揮官としては感情的に過ぎたとも言えるだろう。

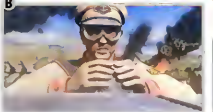


戦況を分析する能力に欠け、部下からの疑念は薄かったが戦力の運用に才覚も示した。しかし、オデッサ戦の陣地指揮では新機雷の一掃にこだわった。

### A ミケーレ・コレマツタ



### B ミケーレ・コレマツタ



### C 熱戦連邦軍兵士



- ① 特務兵小隊を編成しにうつらと生やした敵が情報のコレマツタ。軍にそれとわかったと見られるのは大膽な策を執った。参謀長クレイグ・ホルスターを説いた。
- ② オデッサ戦でこの連隊を率いるプラウドの軍上の指揮を執った。また、戦場の作戦行動でたまたまながら、政略にシブが効いていた。
- ③ 敵が防衛地上軍の兵の一掃の作戦。ウェスパー（中隊ハーネス）に水軍ヤード、ドラムパックを準備した。第144高地を占領した。



進出命令を聞いてとびはねるバーバリーに方向を指示するコレマツタ。上層に対する敬意を示さなかったバーバリーの態度に、怒ることも裏返しは受けた。



独立混成第44旅団に合流したアリスら、指示を受けるコレマツタ。四人部隊である彼女らを支え、戦況は有利な戦場へとつづき公開した。



対敵特務兵小隊に電報を届ける機に急務するバーバリーを要請し、決戦に赴くはず。裏への期待をこらえて、戦場は決まっていた。



オデッサ戦の第144高地を占領した特務兵の指揮を執り、敵の戦艦が暴く戦艦に身を置いた。また、アリスの行動を止めようとしたが、その命令は無視された。

## MORE INFO!

コレマツタの部下であったバーバリーとヤンデルは共に民間から「死神」と呼ばれ、彼らの部隊が次々と壊滅することから独立混成第44旅団も「死神部隊」と囃された。しかし、彼らの前には戦いに参入された兵士たちを誘う存在——本物の死神としての「死神」が居た。一歩戦争の戦場に身を置いた、兵士たちの感情や戦意心を掻き立てて戦いに挑んだ「死神」は、彼らの戦意を見届けたのである。



コレマツタの命令に二の足を踏むアリスに、さらなる戦いを促す死神。だが、その顔の美しさに驚いて死が近づいてきた。

## 地上に舞い降りた死神

死神  
バーバリーやアリスの前に現れた死神。美しい少女の姿をまとっているが、その正体は謎である。



## ウルベ・イシカワ

Urve Ishikawa

## PROFILE

年齢	不明
所属	ネオジャパン軍
階級	少佐
出身	ネオジャパン
経歴	総帥候補、MF乗組



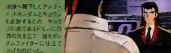
## 世界を牛耳ろうとした

## ネオジャパン軍少佐

ネオジャパンは、コロニー格闘技のチャンピオンであるモン・カッシュをガンダムファイターに迎え、第13回ガンダムファイトの覇権を目指した。世界の覇権を執るべく国家軍を挙げたバクアップ体制が敷かれていたが、その中で、ネオジャパンの責任者であるカフト委員長の下に発言力を有していたのが、実行委員のウルベ・イシカワであった。ネオジャパン軍少佐で、第12回大会に参加した元ガンダムファイターでもあった彼は、モビルファイター（MF）開発のスーパーバイザーを務め、ネオジャパンチームの方針に大きく関与していた。彼の主導によりシャイニングガンダムが完成するが、一方で、地球環境浄化用の機体・アルティメットガンダムも完成に至る。その能力に軍事兵器としての価値を感じたウルベは、秘密裏に機体の開発を画策。だが、開発者ライノウ・カッシュの息子キャウジン・カッシュが機体と共に地球へ逃亡したため、失敗に終わるのだった。



アルティメットガンダムを完成させるため、ウルベはライノウのライバルであるカッシュ博士と共謀。ライノウを乗組員として、その事業に参画する。



地球へ降下したアルティメットガンダムとキャウジンを迎撃するため、カッシュの乗組員がライノウの指示を受けて、彼をガンダムファイターに仕立て上げたのだった。

## CHARACTER

## その人物

ウルベはガンダムファイターとして参加した前回大会でマスター・アジアに敗れ、その屈辱を晴らすためにアルティメットガンダムを欲した。彼はガンダムファイトの優勝ではなく、世界の支配者として頂点に立ちたいのである。



ウルベは武闘家としての実力に絶大な自信を抱いていたが、マスター・アジアに敗北を喫した。だが、彼は高いプライドからその敗北を受け入れられなかった。

## RELATIONS



悪魔の機体に欲を見た  
元ガンダムファイター



## MAIN MECHANIC



ウルベのガンダム  
第12回ガンダムファイトに参加したウルベは、その美観として用いていたMF。そのフォルムからシャイニングガンダムの原型機と見られる。

JMA-271  
ファントム

地球に降下したアルティメットガンダムと迎撃するため、地球に降下した大型MF。乗組員はMFの4機のサイズを誇り、サイズを多様化する。

## 関連ファイル

JR-X001 デビルガンダム(アルティメットガンダム)	00-01-15
ドモン・カッシュ	00-02-01
レイノ・カッシュ	00-02-02
ネオジャパンの人々	00-02-03
ガンダム連合軍のデビルガンダム	00-03-11

## 関連画像



## こんなこともあろうかと 續え続けたこの体!!

アルティメトガンダムは、地球に降下した衝撃で暴走し、キョウジを生体ユニットとして取り込んだデビルガンダムへと変貌する。「悪魔」への変貌は、世界を手中に収めようとするウルベにとっては好都合であったかも知れない。彼はネオジャパニーズの関係者という立場からドモンの動向を常に監視しつつ、デビルガンダムの暴走も見ていた。ウルベの予想以上にドモンが快速艇を駆けてサブパイロットを務めるため、ウルベはここで選手に動くのは得策ではないと判断。彼がその本性を明らかにするのは、ドモンがマスターとの最終戦を制して第13回大会を優勝で終えた後であった。

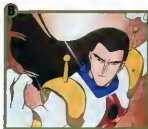
ウルベはドモンが決勝大会を制した直後、デビルガンダムを宇宙へと引き上げ、さらにキョウジに代わる新たな生体ユニットとしてレイナ・ミカラムを勧める。このことで完全復活したデビルガンダムはネオジャパニーズを吸収し、さらに地球をもその翼下にしようとする。ウルベは勝利を確信して高笑いするが、ドモンがこれに抵抗し、宇宙へと上がってきたのだった。加えてドモンと共に新生シャッフル同盟を結成するメンバーや、ドモンに敗れたファイターたちが復活し、デビルガンダムの侵攻を阻止しようとしたことがあったのである。世界を我が物にするべく様々な策謀を繰り出したウルベであったが、事どおり通りかかった武闘家たちの反撃の前に、その野望は破れてしまうのだった。

### 足跡 世界を掌握するための策謀

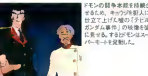
ウルベはアルティメトガンダムの機体暴走を引き起こした際、ライノウのライバルであったミカラム博士を仲間に加え入れたほか、「キョウジがアルティメトガンダムを復活させるため地球へ降下した」という嘘の情報をでっち上げ、それに怒ったドモンを地球へ降下させるなど、狡猾な手段を用いている。武闘家として受けた屈辱と、それまでのような形でも勝つという彼の意思が、そうした卑怯な手口へと彼を向かわせたのである。同時に、万が一に備えて肉体の維持に努めていたほか、DG細胞に感染していたことからその格闘能力には絶対の自信を抱いていた。しかし、マスターとの敗北を翻すためシャッフル同盟を結んでも、それは肉体という器だけの強化になっていた。事実、数々の敗北や挫折を受け入れ、そのことで精神的に成長を遂げたドモンたちには敵わなかったのだ。



- ①ネオジャパニーズの軍服に身を包むウルベ。右肩から顔の番号にマスクを付けているが、これはアルティメトガンダム戦で海軍、空軍両方を陥つたためであった。
- ②第12回大会に参加した際のウルベ。当時が最終の武闘家であった。当時、大会を優勝することを目指して奮闘していた。
- ③DG細胞が身体中に行き渡り、その力が最大に発揮されたウルベ。デビルガンダムを操りながら、自らもその一部に取り込まれていた。



ドモンの闘争本能を刺激させるため、キョウジの死に人柱を立て上げた彼の「デビルガンダム事件」の陰謀を遂げる。さらにドモンをスーパーモーターを駆使した。



ドモンの優勝を機にパルコートが行われている間、ウルベは家から宇宙へと飛び出た。最終的にドモンは最終的にスタートを切った。

グランドマスターガンダムで新生シャッフル同盟を結成していたウルベが、人々による破壊狂（シャッフル暴走）によって敗北を喫した。

### MORE INFO!

ネオジャパニーズは、かつて超大国として発展した国家であった。だが、ガンダムファイト導入後は権力を一度も失ったことがない。上層部にも裏切りが生じていた。また、地球にあるネオジャパニーズの領土は荒廃の一途を辿っていた。ガンダムファイト用のシャッフルガンダムと共に、「自己修復」「自己進化」「自己進化」の三大原理を有するアルティメトガンダムの開発も進められたのである。



地球を浄化する新兵器開発の機体であったアルティメトガンダムだが、デビルガンダムに敗れたことで第13回大会を大きな敗北に終わった。

#### ■ 技術力

宇宙戦のマシン、地上用のマシンなど、防衛能力は充実していた。このほか、シャッフルガンダムの開発者であるライノウガンダムなど数々の機体も開発されていた。



#### ■ ノブッシュ

ネオジャパニーズに配備されていたMS。デスアーミー軍団に対する主要兵器として、多くの機体が配備された。



#### ■ 技術力

ミカラムとカジュ博士という有能な技術者を抱えていたが、ミカラムはライノウの才気に嫉妬し、それを利用して利用される結果となってしまった。



#### ■ ミカラム博士

シャッフルガンダムの開発者で、レイナ・ミカラムの母親。身体を機に利用されて悲劇的な最期を遂げた。



## ロベール・スペイシーと友人たち

Robert Spacey / Deborah Galiena / Amy Zimbalist

## PROFILE

年齢 30代 (ロベール)、24歳 (デボラ)  
 所属 国連一連部隊 (デボラ)、ユニオン一連部隊 (エイミー)  
 階級 —  
 出身 —  
 技能 MS開発史研究 (ロベール)、MS操縦 (デボラ、エイミー)

MS開発史に着目した変わり種と  
ロベールに関わったパイロット

イオリア・シュヘンベルグが提唱した機動兵器——のちにモビルスーツ (MS) として結実する新兵器の登場により、世界は大きな変化を遂げた。当初、軌道エレベーターの建造や保守のために生み出されたワークローダーは、次第に兵器へと洗練され汎用のMSとなる。さらにMSの進化は止まらなくなった。フレスタルビーイング (CB) が武力介入に用いた「ガンダム」は、太陽炉と呼ばれる動力源を有した新たなMSであり、以後、疑似太陽炉を用いたMSが主流となっていく。その目まぐるしい開発状況に興味を抱き、学問の一分野としての人物がいた。それがロベール・スペイシーである。

MS開発史研究者の第一人者であるロベールは、エースパイロットのデボラ、カリエナとエイミー・ジンバリストと出会い、交友を深める。ふたりの交流は様々な出来事をロベールにもたらし、MS開発史研究に多くの実りを与えた。一方で、エイミーとはデボラを巡る意のライバルでもあったのである。



研究を通してMSには魅了していたロベール。最終決戦に用いられたアトリスガンダムの強化機GN-044は、MSはロベールの夢を具現化させたものである。

ロベールの研究は、ユニオンと敵対するMS全盛に陥っただけでなく、軍事産業における露出などの事象から見て、様々な懸念を招き起こしていたと考えられる。



## CHARACTER

## その人物

美人の政治家に会えたと考えて安眠に政治歴史学を選んだロベール。結局は興味が続かず引いたものの、たまたま嫌なことでもやむを得ざる気風を持つ。これこそが新たな学問の設立と第一人者となった研究者としての資質であろう。



MSに対するロベールの執着は熱意。良好な知識を応用する姿勢を無視し、その交友範囲はCBのイアン・グスタフにまで及んでいた。

## RELATIONS

ガンダムと出会い  
MS開発史研究を  
志した青年

## MAIN MS



## GNX-004T

アドヴァンストジックス  
 ジックスに改良を加えたカスタム機で、ユニオン・ロードに配備された。ブレイク・ガンダムの強化機に類似している。ロベールの友人であるデボラとエイミーが操縦する。

## 関連ファイル

GNX-004T アドヴァンストジックス	AGS-01-238
イアン・グスタフ機	00-02-11
アレバ・コロニー	00-03-15
ヒール・ガンダム	00-03-25
グラブ・ヴァリエント機	AGS-02-25
西風のガンダム	00-03-20

## 関連人物



ユニオン派の軍事専門家。ロベール・スペイシーの研究が結果的に認められたロベールと出会う。MSに関する面で無関係である。

## ▲ ロベール・スペイシー

## ロベール・スベイシー

ロベールは、10代の若さでユニオン人類歴史研究所に入った秀才で、政治歴史学を研究テーマとしていた。だが、ガンダムを目撃したことで衝撃を受け、MS開発史研究者としての道を歩み出す。30代であった当時(西暦2307年)は観みだりこととはなかなかに学問だが、彼が50歳となってようやく再評価され、注目を浴びることとなった。

西暦2307年、駆け出しの研究者だったロベールは、人類革新連盟の軍事演習で国連の代表として視察に来ていたデボラと出会う。それ以降、ふたりは行く先々で会ったことになり、「赤い糸」を感じたロベールは彼女に好意を抱く。ただし、CB崩壊後に知り合ったエイミーもデボラに接近し、ロベールとしては意中の動向が気になるのであった。一方デボラは両者を何とも思っていない。3人は三角関係が続いていく。



## デボラ・ガリエナ

国産のテストパイロットを務めるデボラは、顔を含ませることが多いロベールに真実を告げたい。同様に、出逢って以降つくづく言い寄ってきたエイミーにも好意をいたしていたのである。ある任務でエイミーと接触したデボラは、彼の強運に敗北し、オペラを観に行くこととなった。タイミング悪くそこでロベールに遭遇する。後輩場になると思えば、男たちの組み合わせなら会話劇はまるでコメディのようだが、デボラは笑みも顔にも会えないのだ。



## エイミー・ジンバリスト

「鋼鉄のカガロボーイ」と呼ばれたエミーズがロケット、エミーズとロケットとの出会いには、CB廠スタッフは、エミーズと前にもエミーズ同様に基地でジョージアに控えている時であった。以後、ロバールが書くまでのエミーズの記事を書く人が入り、奇妙な縁が結ばれる。また、ロバール様で示すように好きを指が、同様の気持ちに氣にしている人々がいてエミーズにとって、ロバールを恋しく思っているには時間が必要であった。なお、西暦2302年当時（18歳）のエミーズは、太陽が静寂機に対する不遜な態度が気になり、密かにガンダムイースター機に搭乗して逃げた。エミーズが脱走したように、CBのスカウトであるグラブ・ヴィオレントは、女好きのエミーズに言葉が通じようとして接近。その防衛は戦場でエミーズの命を助けたのである。



④30代(左)と50代(右)のコペル。ユニオン入機歴史研究所ではグラベと同僚であり、若い曹長士で暴発融合した。

③ お買換えで女性にだけ限らない二枚着。両顔が女の子を表現していたため「エイミー」と名付けられ、短い髪は女の子として育てられたという。

## AD Case File

## 西暦事件ファイル

## ジンクス開発秘話

交和として世に現れた軽型太陽炉搭載機GNX-603T ジングス。その完成に機組で関与していたのがコペールとデボウであった。太陽炉搭載機は通常の機体とは格段の感覚が異なる。そのための国産のバイロットとして世界中のMSに精通していたデボウの機が買われたいのである。その結果ジングスは、どの軍の人間でも格闘し易い機体に仕上がった。



歴史  
フォーカス

## 北米遭遇戦

Evolution Test of HILDLUF

U.C.0079

長期化する一年戦争と  
モビルタンクの「評価試験」

U.C.0079.05.09、ジオン公国軍の試作モビルタンク YMT-05 ヒルドルフと地球連邦軍の偽装MS部隊「セモベンテ隊」が遭遇戦を展開し、双方が壊滅する事態となった。この遭遇戦が発生した背景には、当時の戦況があった。

北米での遭遇戦が発生した頃、一年戦争の主戦場は宇宙から地球に移行していた。南米条約締結の席で地球連邦を待伏に追い詰めなかったジオン公国軍が、地球侵襲作戦を展開したためである。

コロニー落としとマス・ドライバー攻撃によって地球連邦軍が弱体化していたこと、地球上でもMSが威力を発揮したことなどから、ジオン公国軍は電撃的に占領地を拡大していった。しかし、4月にはジオン公国軍の侵襲速度は鈍くなり、ついに戦線は膠着してしまふ。またや夏期決戦に失敗したジオン公国軍は、泥沼の長期消耗戦に突入したのだ。

一年戦争の長期化が、国力に劣るジオン公国軍

にとって不利だったことは言うまでもない。進出限界に達したジオン公国軍は、戦線を維持するだけで膨大な物資を消費するようになっていた。当然、物資は不足気味になり、MSの定数を揃えられない部隊も続出した。地球方面軍の司令部が壊かれ、ジャブロー攻略の最前線となっていた北米大陸ですら、状況は芳しくなかった（地球方面軍司令官ガルマ・ザビ大佐直轄の部隊も、陸戦用MSザクII型の不足を主力戦車マゼラ・アタックで補っていたようである）。

そこでジオン公国軍は、あらゆる手段を講じて兵器の確保に動いた。その一環として持ち出されたのが、かつて陸戦用機動兵器として開発されながら不採用に終わった超野戦戦車ヒルドルフだった。全長30m級の巨体に、宇宙戦艦用の30センチ砲と動力用の自家熱核反応炉、そして半MSモード「モビル形態」への変形機構を備えるヒルドルフは、極めて強力な陸戦用機動兵器だった。制式化に至らなかったのは、ミノフスキー・イオネスク型熱核反応炉の完成以前に開発されたため大規模な会戦で使われたこと、ヒルドルフの任務を兼任できるMS（特に重MS）の完成といった諸条件が重なったためである。それでも制式化されなかった兵器を前線に持ち

出すには、相応の名目が必要だった。そこでジオン公国軍は評価試験の名目でヒルドルフを地上に降下させた。この「評価試験」を担当したのは、ルウム戦役で超大型核融合プラズマ・ガン「QCX-76A ヨルムガン」の試験を行った第603技術試験隊であった。

だが、この評価試験は実戦へと移行する。降下中の大気圏突入カプセルが地球連邦軍に発見されたのだ。その敵部隊——セモベンテ隊は、降下したMSを装備していた。

（「ネームレス」ジョン・スミス U.C.0154）

## 関連ファイル

YMT-05 ヒルドルフ	IGL-01-02
ヨウウヘム	IGL-01-11
デブリ・スール・ソーン	IGL-02-07
フェデリコ・パリアーノ	IGL-02-10
無印機動作戦	FQ-03-43
モビルタンクと半ヒルドルフ	IGL-03-07
第603技術試験隊	IGL-03-06

FILE 03

ヒルドルフとヒルドルフ



ヒルドルフは、MS形式にすれば高機動なMSと見られる。本機は30センチ砲を備えた超大型戦車だったが、試作の時点で開発が中止。僅く開発途中で数機を行い、大規模な





エミクイ  
ガイド

## オペレーション・スピットブレイク

### The History of Warfare in C.E.

コスミック・イラの戦史展

陰謀が交錯した  
JOSH-A 攻略作戦

C.E.71.05.06に発動された、ザフトのJOSH-A(統合アラスカ最高司令部) 攻略作戦が「オペレーション・スピットブレイク」である。赤道対顔作戦「オペレーション・ウロボロス」の一端にあたり、地球連合軍本部JOSH-Aを陥落させることで、戦争を早期終結に導く意図があったと見られる。

オペレーション・スピットブレイクにおけるザブの戦術は、隠動と立体戦術を組み合わせることで、地球反攻で培った従来のノウハウの継技めと言っても過言ではない。地球連合軍の主力をザブに誘い出した際に、特殊空の協同部隊と面対降下部隊を投入、一撃にJOSH-Aを叩く作戦である。MSは汎用機・陸戦機・水中用・空中用を含む空宙空の兵器が投入され、MSを水配役のJOSH-Aを圧倒できた。

こうして5月8日、ザブの反攻部隊はJOSH-Aを攻撃した。地球連合軍がマイクロ波発生装置コンプレックス（マイクロ波）でJOSH-Aの衛星を破壊、反攻

部隊は増減している。

5日に発動されながら、JOSH-A侵攻まで3日を要したのには理由があった。元オオバレーション・ビートルは、パナマ侵攻作戦としてブラント最高評議会が承認されたが、発動時に指定された攻撃目標はアラスカのJOSH-Aだった。作戦の提案者にしてブラント国防委員長のバトリック・ザハは、ザハ将兵のみならず最高評議会すら欺いており、侵攻経路は72時間かけての準備を怠ったことを、

前述のように地球連合軍は、ザフトによる侵攻が予想されたパナマに主力部隊を派遣していたが、マッドライバー「ポルタ・パナマ」の防衛が真の目的ではなかった。地球連合軍はオペレーション・スビクト・プレイクの真の目的を察知しており、JOSH-Aごとくサイクロプスでザフト侵攻部隊を殲滅するつもりだったのである。本部を自衛させる選択は不合理に思えるが、本部機能が移転可能である以上、敵部隊の規模によっては十分に合理的な選択だった。

しかし、地球連合軍上層部の判断は合理的でこそあれ、あまりにも非道だった。JOSH-Aの放棄を隠蔽するため、作戦の実態を知らせないままユーラシア連邦を中心とした部隊をJOSH-A防衛に投入し

たのだ。当然、JOSH-A防衛に参加した部隊は、ザフトごとサイクロプスで爆り去られる運命にあった。

両軍の陰謀が渦巻くこととなったオペレーション・スピットブレイクだが、その暗部には別の目的を持つ人物が介在していた。その人物こそ、ザフト士官ウ・ル・クルーゼだった。クルーゼは地球連合軍に情報を漏らし自戦失敗の原因を作ったが、望んでいたのはプラントの敗北ではなく、世界の破壊であった。

(執筆者、執筆時期不明)

関連ファイル

ラウ・ル・クルーゼ	SEED-02-15	■
バネジック・ザラ	SEED-02-16	■
ノーゲル・クライン	SEED-02-19	■
JOSH+高壇	SEED-03-11	■
地球連合	SEED-03-34	■
プラントとザフト	SEED-03-35	■
C.E.71の結核病と軍事革命	SEED-03-43	■



# 作戦の概要

ザフトが実施した、地球連合軍本部 JOSH-A 機動作戦が「オペレーション・スピットブレイク」である。非連動機動作戦「オペレーション・ウロボロス」の一派として計画され、C.E.71.04.01にパナマ機動作戦としてプラント最高評議会が可決された。発動は5月5日、JOSH-A への機動は5月8日に行われている。ザフトによる地上基地攻撃作戦としては最大規模のものであった。



地球連合軍を討倒すべく、ガンダムとビクトリアの間に集ってザフトが実験した。大規模地上戦に合った。



民間のジンドや、民間の研究所や中核、飛行艇といった多岐を大規模な作戦に投入され、立体的な作戦を実施。

## スピットブレイクへの道

戦争の長期化を受けたプラントは、オペレーション・ウロボロスの見直しを進め、その一派としてパナマ機動作戦としてのオペレーション・スピットブレイクを許可した。



パナマ・ザフトに代表される急進派が勢力を伸ばすや、プラントは「オペレーション・スピットブレイク」を実施。

## 開戦とウロボロス

地球連合との開戦に踏み切ったプラントは、宇宙での戦勝を有利に進めると、地球侵攻を本格化した。この際、実地における非連動機動作戦「オペレーション・ウロボロス」は、地球におけるザフトの権威を確立した。C.E.71.02.03、戦争の長期化を受けて見直しが検討された。



オペレーション・ウロボロスは地上基地の破壊、中核の破壊、ニューロロンジマの戦いを機軸とした。

## スピットブレイクの準備

最高評議会のオペレーション・ウロボロスは見直し方針を受け、アフリカ戦線の強化、第2次ビクトリア攻勢によるビクトリア宇宙造船所（2月13日）などなされた。地球上においてザフトが攻撃を強めていた4月1日、最高評議会はオペレーション・スピットブレイクを承認した。



プラント内で急進派が勢力を握る中、ウロボロスを強化し、地球上ではザフトが活動を開始させた。

## スピットブレイクの実行

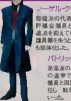
マストライバー「ゴルム・サウ」を擁するパナマ基地の機動作戦として承認されたオペレーション・スピットブレイクが、突如としてアラスカの地球連合軍本部 JOSH-A の収容所を襲撃した。この襲撃はパナマ・ザフト国防委員長と、ごく少数の部下しか知らなかった。



ボルト・パナマの附近にウロボロスの船団を全滅させているが、ザフト国防委員は JOSH-A 側を導いた。

## 急進派の拡大

プラント内で急進に支持を拡大した急進派は、最高評議会でも急進派と部勢力を確立した。戦争が長期化すると急進派はさらに勢力を上げ、C.E.71.04.01に最高評議会議長に就任したバトリック・ザラは、即日オペレーション・スピットブレイクを提案、承認させた。ただし、急進派を監視して防衛策を進めるため、真の作戦内容を伏せていた。



バトリック・ザラ 急進派の代表。C.E.71の選挙で最高評議会議員と国防委員長を兼任し、戦争を加速化させた。

## 戦争初期

最高評議会（議長：シゲル・クライン）

穏健派  
(シゲル・クライン 他)

対立・均衡

急進派  
(バトリック・ザラ 他)

## オペレーション・スピットブレイク時

最高評議会（議長：バトリック・ザラ）

穏健派  
(シゲル・クライン 他)

圧迫・変遷

急進派  
(バトリック・ザラ 他)

## クルーゼの暗躍

バトリック・ザラの側近ラウル・クルーゼは、オペレーション・スピットブレイクの情報を地球連合軍（の背後にいる）ムルタ・アズラエル）に漏らしていた。



クルーゼが自ら内通者となっており、作戦情報も漏らした。地球連合軍との対峙も知られていた。



ラウル・クルーゼ アム・ダ・クラのクローンでザフトの白狼。地球連合とプラントの戦いを加速させた。世界の命運を握る。



## 地球連合軍の反応

オペレーション・スピットブレイクを察知した地球連合軍は、攻撃目標とされたパナマに大規模な侵襲し、JOSH-A にはほとんど戦力を残さなかった。ザフトの間にあったように見えた地球連合軍だが、事前に真の作戦情報を持っており、近距離作戦を準備していた。



ブルーコスモスとクランの地球連合軍本部と部隊は地球連合軍に、本拠地を自衛させ、防衛態勢を構築するつもりだった。



ムルタ・アズラエル 地球連合軍を率い、ブルーコスモスの本部、各員に地球連合軍を率えている。JOSH-A 自衛隊部隊も、彼の指揮による戦いが多い。



ウィリアム・サザランド 大南太平洋所屬の地球連合軍大佐。ブルーコスモスの一員でもあり、ザフト連合の地味な見えての自衛隊を指揮している。

## パナマへの機動展開

ザフトの部隊展開からパナマ侵襲を予見した地球連合軍は、マストライバー「ゴルム・サウ」防衛のため戦力をパナマ基地に集中させた。ビクトリア宇宙造船所がザフトの手に落ちたという報知。パナマは地球連合軍唯一のマストライバー基地で、その喪失は地球連合軍が地球に陥らされることを意味していた。もともと地球連合軍は、スピットブレイクの裏の攻撃目標を持っており、間に合わなかった。



マストライバーは、低コストで大規模な物資を平準に運搬できる。その平準化にも、極めて有効であった。



実用化されたばかりの量産型兵器 M5 型は、パナマに投入された。M5 型はストライカーザグが中心。

## JOSH-A の敗北

地球連合軍がパナマに主力部隊を派遣したことで、JOSH-A の防衛力は極度に少なくなった。もともと地球連合軍は、事前に入手した作戦情報からザフトの目標が JOSH-A だと察知して、意図的にアラスカを奪っていた。そして JOSH-A にザフト侵襲部隊を誘き寄せ、マイクロ波発射装置「サイクロロス」で基地に襲いかかったのだ。この作戦のため、ユラント連邦を中心とした防衛部隊は壊滅させられていた。



JOSH-A の自衛隊部隊は、作戦の裏切りに対して、ザフトの侵襲に耐え、ザフトの侵襲に耐えて基地に抵抗した。



ユラント連邦を中心とした防衛は、作戦の裏切りに対して、JOSH-A に破壊された連合軍に抵抗した。

## SCIENCE Key Word

地球連合軍本部 JOSH-A

JOSH-A（統合アラスカ最高司令部）は、アラスカに置かれた地球連合軍の総司令部だった。極めて固守の地帯であり、本拠地の防衛能力が高かった。ザフト侵襲部隊でも完全な破壊は不可能で、自衛隊、司令部はヘンズベースに避難した。



地上からは、連隊の全隊は撤退し、ほぼ完全に地下で戦った。地上から見たら、連隊の撤退は確認された。



## JOSH-A の構造

最終のサスペンションで実用化された人工地盤（グラウンドゼロ）には、全軍用防衛司令部が置かれた。さらにその下にはサイクロロスが設置された。





## ザフトの戦略と戦術

圖書

地球聯合軍本部を制圧することで、早期終戦を目指した。パナマ侵攻作戦として国連評議会に承認されていたが、ザラ議長、国防委員長の判断で数日遅延が変更された。



地球連合軍の宇宙艦隊阻止が真向きの理由。MSB主戦力としてつづった地球連合軍は、ブライトによって脅威だった。

**單邊**

パナマ政変を経て地球連合軍の主力部隊を造り出し、「空き家」になったJOSH-Aを容納する作戦だった。実際、手薄になったJOSH-A内部に基々と侵入している。



暗黒空だけでなく、  
宇宙からもMS部隊  
を地下させ、立体戦  
作戦を展開。地球に  
おけるザフトの戦術  
の解決策と云ふ。

## 19-2

汎用MSだけでなく、陸戦用・水中用・空戦用などの大気圏内用MSを多数投入した。艦載はボスゴロフ護潜水母艦のみ戦闘に投入された(宇宙では宇宙艦艇も参加している)。



**AMF-101 ディン**  
機体飛行能力が有するMS。空対空戦で特に威力を発揮し、地球連合軍の戦艦機動隊に所属。カラーリングは白と青の組み合わせ。



MSはゾノが参加している。



## 地球連合軍の戦略と戦術

### 目的

ザフトの大規模部隊を削減することで、ミリタリーバランスを一旦させることが目的とされる。上層部は、ひとりでも多くのコーディネーターを抜出したがったようだ。



コーディネイターに強い敬意を持つ上層部は、戦地上の理由だけでなく、感情的な面でもスタッフの成長を望んだ。

駐電

隠微に送った情報をJOSHUAにザフトに送り寄せ、サイクロプスで基地ごと殲滅する戦術を採用。スピットブレイクの本来の目的は、内通者から知られていた。



JCSHAの地下に  
設置されたサイクロ  
プス。同様のシステ  
ムによる自爆破壊  
は、グロマルティ（報  
道）でも確認された。

图 1

MSはパナマ方面に投入されたため、海上空母・戦艦・AFV・砲台といった旧来の兵器が主力となった。ザフトのMS相手に劣勢を強いられ、多くが撃破されてしまった。



### ダニロフ緑イースス艦



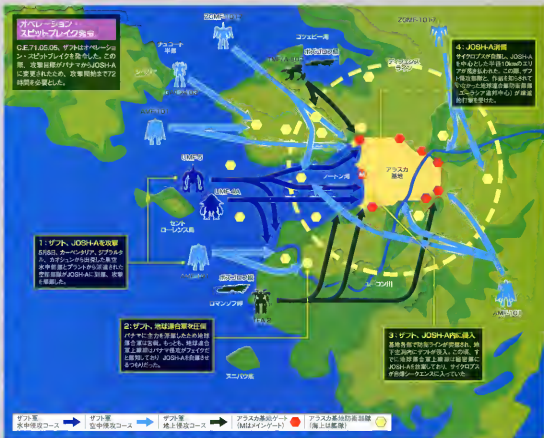
地球連合軍の主力戦車で、主眼としてリニアガン  
を搭載する。敵戦車MSザワートを撃破する場面も  
あったが、MS相手には明らかに不利だった。



地球連合軍の主力戦車で、主眼としてリニアガン  
を搭載する。敵戦艦MSザワートを撃破する場面も  
あったが、MS相手には明らかに不利だった。

## 戦国の推移

作戦発令時、目標をパナマからJOSH-Aに変更したため、実際の侵攻まで72時間を要したが、MSを駆使した立体的戦術によりザフトが圧倒的優勢を確保した。パナ





## 勝因と敗因

宣戦の大部隊を展開したザフトだったが、投入戦力の5割を失い、オペレーション・スピートブレイクは完全な失敗に終わった。地球連合軍もJOSH-Aと陸衛部隊のほとんどを失ったが、司令部機能は他に移動可能なうえ、主力部隊もパナマに撤退していたため、被害は最小限に抑えている。戦術・戦略の両面で地球連合軍が勝利したと言える。



### ザフトの敗因

バネリック・ザラ議長、国防委員長が、最高評議会を欺いてまで実行した作戦だが完全な失敗した。作戦情報の漏洩が直接的な敗因だが、オペレーション・スピートブレイクとの整合性がなく、JOSH-A攻撃の類似性が見られたことも大きかった。

### 情報の漏洩

パナマ攻撃を依頼したJOSH-A攻撃作戦という秘密を採用したオペレーション・スピートブレイクだが、作戦情報が地球連合軍に漏れたため作戦が逆用されてしまった。ナチュラルに対する情報も活用していたようだ。



クルーゼの裏切りは、機体の隠れ場所を知り得たことが決定的な敗因である。事前情報があったからこそ、パナマへの派遣を助けた主力部隊の退避も可能となった。

### 作戦の必然性の迷信

ザフトガクシオン宇宙港とピクトリア宇宙港を制圧していた当時、パナマこそが攻撃すべき対象だった。パナマを制圧すれば、地球連合軍を地球に封じ込められるためである。JOSH-A攻撃は時間的早打だった。



マルク・ミューラーの「オペレーション・スピートブレイク」を聞いたザラ議長は、戦争を早急終結させる必要に迫られていた。



地球連合軍を裏に掛けたかに思われたザフトだが、逆う「ア」により裏返。アークエンジェルが地球連合軍から離脱する要因ともなった。



### 地球連合軍の勝因

地球連合軍最大の勝因は、事前にオペレーション・スピートブレイクの作戦情報を入手できたことにある。非情に復讐した自衛隊も功を著したが、これは生き残った防衛部隊将兵の不信を招くことにも繋がり、長期的にはマイナスに働いている。

### 作戦情報の入手

機体の元のアラスカを訪れたプロ・フルクルーゼを通じて、作戦の計画を知り得たことが決定的な勝因である。事前情報があったからこそ、パナマへの派遣を助けた主力部隊の退避も可能となった。



クルーゼがもたらした作戦情報は、ムルタ・アズラエルの手に渡った後、地球連合軍にも知られた経緯

### JOSH-Aの敗因

マイクロブスを用いたJOSH-Aの首領は完全な奇襲となり、ザフト侵襲部隊に足利な打撃を与えた。この際、ユーラシア連邦を中心とする防衛部隊も参戦したが、大規模部隊はその被害も幾分か減らされた。



かつてエンジェルとエンクレーター戦で得られた戦術だが、その両者はザフトにとって逆方向だった。

## C.E. Case File

### コスミック・イラ ファイル

## スピートブレイク後の両勢力の動向

オペレーション・スピートブレイク後、地球連合は事実を隠蔽して政治的に利用し、プラントはパナマ侵襲を正当化した。特にパナマ侵襲は事実上の報復作戦であり、「滅国戦争」への道が開かれた。

### 1 プラントの動向

5月25日にはパナマ攻撃戦を再開し、ボルタ・パナマを破壊。ザラ議長は、報復戦による情報漏洩が作戦失敗の理由と断定し、クライン父娘を指名手配した。



ボルタ・パナマはEMP兵器「ラングニール」を用いて破壊。国家反逆罪でワグネル・クラインを指名手配し、捕虜した。

### 2 地球連合の動向

JOSH-A崩壊と、ザフトの新型大量破壊兵器によるものとの報道は、ナチュラルの支持を弱めた。一方では地球の全国家を指揮下に収めようと、軍事力を高めて対応した。



プラントとの決戦に備え、セブリアン軍本部の増員「マッドライバー」[カダヤ]を有するオーブの軍事制度などを実施。

## 機動戦士Zガンダム

## TIMELINE

U.C.0087

## アポロ作戦

月面都市フォン・ブラウンの占拠を企むティターンズの一大侵襲作戦が開始され、たちまち月面は激しい戦場と化す。だがその中でひとり、バブテマス・シロッコだけは事態を静観していた。彼は目前の勝敗よりも、大局を見据えた野望を抱いていたのである。

U.C.0087 8月10日

## ティターンズ、アポロ作戦を発動

月面軌道上に集結したティターンズの大隊隊が月面都市フォン・ブラウンへの降下を開始した。ティターンズの覇を地球圏に知らしめる「アポロ作戦」である。ドゴス・ギア



地球とコロニーを結ぶ交通の要路であるフォン・ブラウンを降下するティターンズ軍は、月面軌道上に集結して降下を開始した。



シロッコの乗るドゴス・ギアが艦隊を率領したことを察知したティターンズ軍も反撃、シロッコは月面を駆け回りアポロ作戦を開始されることになった。



無敵の艦隊を率領するティターンズ軍は、フォン・ブラウンに降下するティターンズ軍の動きを監視する。だがその中、シロッコは意図には気づかなかった。



対するモビルスーツは中心とする部隊を率領する。フォン・ブラウンの周辺で激しい戦いが繰り広げられることになった。

U.C.0087 8月10日

## ジェリド、カミーユのZガンダムと交戦

ドゴス・ギアから探知したジェリド・メサは、戦場にカミーユ・ビザンのZガンダムの機影を見つと、命令を無視して闘い始めた。これまで何度も乗っ取られてきたはずと



これまで何度も乗っ取られてきたはずと、ジェリドはZガンダムを討ち、一方、都市の防衛に懸命なカミーユはジェリドに構っている暇はなかった。



し前をここでつけようというのだ。鬼気迫る勢いのジェリドは被弾するも構わずにZガンダムを追跡。パートナーであるマウアーの制止も耳に入らなかった。

カミーユは集中して戦った。それは最も強力な戦果を挙げることになった。実際は左軍部隊に任せて自らの戦局を静観。自軍の戦力も減らず、戦を見計らってフォン・ブラウンを利用しようとしたのだ。シロッコにとっては左軍すらも利用すべき戦場であり、ジェリドもジャマヤカもいよいよ動かされたのである。さらにこのように動向は以後、何度も見られるようになり、勢力を拡大したシロッコはティターンズ内で圧倒的な影響力を有するようになるのだった。

U.C.0087 8月10日

## ドゴス・ギア、フォン・ブラウンに降下

エーグとティターンズの戦いが激しく、それまで後方に位置していたドゴス・ギアがフォン・ブラウンに向かって移動。防衛の手厚なムートンを使用して月面都市に入る



激しい戦闘を繰り出し、フォン・ブラウンに降下するドゴス・ギア。その姿は、かつてのムートン、艦隊が抱える苦戦に身をいれ、戦い続ける。



と、艦隊だけでなく味方を出し抜く形でフォン・ブラウンを制した。この意外な奪取で、地球とコロニーを結ぶ重要な拠点にはティターンズの手に入ってしまったのである。



おしる軍もいよいよ、フォン・ブラウンに降下するドゴス・ギア。その姿は、かつてのムートン、艦隊が抱える苦戦に身をいれ、戦い続ける。

U.C.0087

ティターンズ、アポロ作戦を発動。

エーグ、迎撃部隊を派遣させる。

フォン・ブラウン周辺で戦闘が開始。

シロッコ、積極的に戦闘に参加せず、事態を静観する。

ジェリド、Zガンダムを発見。

ジェリド、マウアーの制止を聞かずにZガンダムを撃つ。

ジェリド、百式に攻撃され、負傷。

ドゴス・ギア、フォン・ブラウンに向かって移動開始。

ドゴス・ギア、フォン・ブラウン半面港に入港。

フォン・ブラウン、ティターンズに占拠される。

アポロ作戦、終了。

## MORE INFO!

## シロッコの隠された思惑

アポロ作戦でシロッコが積極的に関与しなかった理由。それは最も強力な戦果を挙げることになった。実際は左軍部隊に任せて自らの戦局を静観。自軍の戦力も減らず、戦を見計らってフォン・ブラウンを利用しようとしたのだ。シロッコにとっては左軍すらも利用すべき戦場であり、ジェリドもジャマヤカもいよいよ動かされたのである。さらにこのように動向は以後、何度も見られるようになり、勢力を拡大したシロッコはティターンズ内で圧倒的な影響力を有するようになるのだった。



ジェリドの負傷後、本軍は彼にZガンダムを引き付けさせたシロッコ、目撃が動揺したのもである。



作戦終了後、ジャマヤカから吃驚されたシロッコだが、一定の戦果を挙げたことから静観されることはなかった。

NEXT PAGE





